

佐久地域の高校の将来像を考える地域の協議会
協議会における協議の進め方

1 協議の進め方

項目	内容
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会が策定した「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」において、高校の設置主体たる県教育委員会の考えが示されており、その中で、佐久地域（旧第6通学区）の高校の再編計画の方向性として、 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校数が多く、全体の学校規模が縮小化している中で、地域の中学生の期待に応える学びの場を整備していく必要がある。 ② この地区の今後の少子化の進行を考えると、再編の実施を前提に地域の高校の将来像を考えていく必要がある。 ③ これらの観点を踏まえると、小諸市と佐久市に適正数を考慮しながら規模の大きさを活かした都市部存立校を配置するとともに、学びの場の保障の観点も踏まえながら中山間地存立校を配置していくことが考えられる。 </div> ・ としている。 ・ 県教委は、地域の協議会での意見を踏まえ、旧第6通学区の再編・整備計画を確定することとしている。 ・ 小諸においては、独自に検討組織が立ち上がり、協議を深めてきた経過があり、地域内で一定の合意形成が進んでいる。
協議の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会に、旧通学区内の将来を見据えた高校の学びのあり方などについて意見が求められていることを踏まえ、学びに重点化して協議し、意見する。 ・ 特に、再編計画の方向性にある「地域の中学生の期待に応える学びの場」については、地域ごとの特徴や地域の要請が強い部分であることから、重点的に協議・意見する。
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ この協議会のほか、様々な関係者の意見を協議に活かすべく、佐久広域連合正副連合長会議、佐久地区市町村教育委員会連絡協議会などからの意見聴取に努める。 ・ 小諸での合意形成の深まりを踏まえ、本協議会の提言の先に地域から詳細な要望が行われていく状況を勘案した議論とする。

2 協議のスケジュール

時期		内容
第1回	11月22日	<ul style="list-style-type: none">・協議の進め方について決定・県教委の実施方針について説明・佐久地域の高校の現状、将来予測データ等について説明
第2回	12月2日	<ul style="list-style-type: none">・関係機関等からの意見聴取・「佐久地域の高校の再編計画の方向性」について意見交換
第3回	12月25日	<ul style="list-style-type: none">・提言の素案について意見交換、提言を成案化

※これ以外にも必要に応じ会議を招集、実施